

石膏型を使用した陶磁器商品化支援

【開発の背景】

- 1) 阿部陶房は平成 24 年度に当センターの釉薬課程を修了・独立し、洋食器を中心に製造・販売しています。カップやボウルなどはロクロにより成形していますが、主力製品のプレートは石膏型を使った生産を行っています。石膏型にレリーフと呼ばれる装飾を施しますが、型製作に時間と手間がかかる問題がありました。
- 2) 井川窯は平成 28 年度に当センターの成形課程を修了・独立し、彩色技術（絵付）をコア技術として有しています。彩色は細かい作業で時間を必要とするので製造工程を見直し、成形を石膏型により省力化して彩色工程に注力したいという課題がありました。

【開発の経緯・支援内容】



図 1 石膏原型ろくろによる試作



図 2 鑄込み型の試作

当センターで石膏機器を整備するとともに、修了生を中心とした石膏型による新たな製品開発に意欲的な企業との研究会活動を行っています。その活動の一環として当センターが所有する機器を使った試作支援を行っています。

- 1) 問題解決のため、石膏原型ろくろを使って製作する指導を行い製作時間の短縮化がはかれました。
短縮化により、異なるレリーフの型を複数作ることが可能になり製品の種類を増やすことができました（図 1）。
- 2) 自然の草花をモチーフにした彩色に合うゆるやかな円形状のデザインで製作・量産することで、ロクロ成形が得意とする真円状の製品と差別化をはかりたい要望がありました。
そこでゆるやかな線を活かせる鑄込技法での製作指導を行い、鑄込技法の弱点である石膏型の劣化を防ぎ長寿命化を可能にする真空攪拌機による石膏溶液で試作しました（図 2）。

【開発した製品の紹介】

- 1) 図 3 は図 1 による石膏型と製品例で、縁の形状や装飾にバラエティーがあるのが特徴です。
- 2) 図 4 は図 2 による石膏型と製品例です。手になじむ形状と手描き彩色（絵付）が魅力です。現在県内ほか県外・都内のギャラリー等で販売されています。



図 3 オリーブレリーフ皿（阿部陶房）

価格：4,104～7,020 円（税込み）



図 4 絵付けの器（井川窯）

価格：3,240～4,320 円（税込み）

基礎となった事業

平成 29 年度 オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

現在の担当部門

人材育成部門

部門長

尾形 尚子

TEL:0296-72-0316

特任教授

佐藤 雅之

主任研究員

常世田 茂